※令和４年度以降入学生用

学校番号	1004

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「政治・経済」　（東京書籍）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・全体構造をつかめるように、意識して単元間の関係性を考えていきましょう。
・単元ごとの要約をしていきましょう。
・各単元の学習が終わったら、内容を樹形図などで図示できるか確認してみましょう。

２　学習の到達目標

・社会を成り立たせている基本的な構造や理論を体系的に理解し、資料や実際の社会的事象から関連付けて読み解くことができる。
・論点となる政治的･経済的課題に対し、結論となる自身の考えを論理的に思考し導くことができる。同時に反対利益に対しても思考できる多面的多角的な考察ができる。
・社会の構成員として主体的に物事をとらえ、探究する態度を身につける。その上で、現代社会の諸課題について、事実や客観性をもとに、公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の政治･経済･社会･国際関係にかかわる基本的な事項や課題について体系的･総合的に理解し、その知識を身につけているか。	社会を成り立たせている基本的な構造の相互の関係性に気づき、多面的･多角的に考察しているか。 社会の変化やさまざまな立場･考え方があることを理解した上で公正に判断しているか。 課題についての考察や判断の過程や結果をさまざまな方法を駆使して適切に表現しているか。	現代の政治･経済･社会･国際関係などにかかわる基本的な問題や課題にかかわる事柄に関心をもち，意欲的に探究しようとしているか。 社会的事象を総合的に理解し考察しようとする態度を身につけているか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名		学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
					知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　現代日本の政治と経済	第1章　現代日本の政治	1節　民主政治の基本原理 ① 民主政治の成立 ② 法と民主政治 ③ 基本的人権の確立 ④ 現代の民主政治 ⑤ 世界のおもな政治体制	a:民主政治、法、基本的人権の確立と国際化、世界の政治体制を理解している。また考察する際に必要な情報を適切に読み解いている。 b:現代の民主政治への沿革と背景を論理的に考察している。 c:主体的に必要な情報を収集し探究している。	定期考査 小テスト	定期考査 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り	課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り
			2節　日本国憲法の基本原理 ① 日本国憲法の制定と基本原理 ② 基本的人権の保障 ③ 平和主義	a:明治憲法との比較と憲法改正論議、個人の尊厳と公共性、平和主義と安全保障の各論点を理解している。 b:基本的な論点及び近時の議論について考察し表現している。 c:各論点を自身に関連する事柄として課題解決に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り	課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り
			3節　日本の政治機構 ① 国会と立法 ② 内閣と行政 ③ 裁判所と司法 ④ 地方自治	a:三権及び地方自治の仕組みを理解している。 b:三権及び地方自治の存在意義や制度趣旨について考察している。 c:各組織や制度が抱える課題の解決について主体的に追求している。	定期考査 小テスト	定期考査 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り	課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り
			4節　現代政治の特質と課題 ① 戦後政治と政党 ② 選挙と政治意識 ③ 世論と政治参加	a:政党政治と利益集団、選挙制度とその諸問題、世論形成へのマスメディアの役割を理解している。 b:主権者の視点で多面的多角的に考察し、表現できている。 c:現代政治の課題について解決方法への主体的な考察ができている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り	課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り
		第2章　現代日本の経済	1節　現代の資本主義経済 ① 経済活動の意義 ② 資本主義経済の発展と変容	a:経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済、新自由主義について理解している。 b:資本主義経済の特徴に着目し、資本主義経済が今日の世界経済の主流になったのはなぜか多面的多角的に考察し表現している。 c:現代の資本主義経済の制度上の限界を公正公平の観点から主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り	課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り

※令和４年度以降入学生用

			2節 現代経済のしくみ ① 経済主体と経済の循環 ② 生産のしくみと企業 ③ 市場経済の機能と限界 ④ 国民所得と経済成長 ⑤ 金融のしくみと機能 ⑥ 財政のしくみと機能	a:各経済主体と相互関係性、株式会社、市場及び市場の限界、国民所得と経済成長、金融、財政、の基本的な仕組みや制度について理解している。 b:市場経済を中心とした現代の経済はどのような仕組みでどのような課題を抱えているか多面的多角的に考察し表現している。 c:経済の基本的事項や論点を主体的に探究している。	定期考査 小テスト	定期考査 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り	課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り
2学期			3節 日本経済の発展と現状 ① 戦後日本経済の発展 ② 日本経済の現状	a:戦後日本の経済発展と現状を諸資料から読み取り理解している。 b:戦後の日本経済の変遷とその過程での問題点を考察し表現している。 c:現代の日本経済のよりよい構築について主体的に考えている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り	課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り
			4節 福祉社会と日本経済の課題 ① 公害と環境保全 ② 農業・食料問題 ③ 中小企業の現状と課題 ④ 情報化の進展と社会の変化 ⑤ 消費者問題 ⑥ 雇用と労働問題 ⑦ 社会保障と福祉	a:福祉社会と日本経済の課題の諸論点について、必要な情報や資料を適切に読み取り理解している。 b:日本経済が抱える課題を解決するにはどうすればいいか多面的多角的に考察し表現している。 c:諸課題や諸制度について、身近な問題として主体的に捉えられている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り	課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り
		第3章 現代日本の諸課題	① 少子高齢社会における社会保障 ② 地域社会の活性化 ③ 多様な働き方・生き方の実現 ④ 中小企業の意義と課題 ⑤ 日本の財政の健全化 ⑥ 持続可能な食糧・農業の実現 ⑦ 防災と安全・安心な社会の実現	a:現代日本が直面する政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題解決に向けて考察・構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取りまとめている。 b:現代日本の諸課題の解決に向けて政治と経済を関連付けながら多面的多角的に考察し、表現している。 c:現代日本の諸課題について主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 発表 定期考査 小テスト	レポート 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り

※令和４年度以降入学生用

	第２編　グローバル化する国際社会	第１章　現代の国際政治	1節　国際政治のしくみ ① 国際政治の特質 ② 国際社会と国際法 ③ 国際連合の役割と課題	a:国際社会の成立と主権国家、国際社会の秩序維持と国際法、国際連盟・国際連合について理解している。 b:国際社会の様々な主体やルールに着目し、国際社会における利害調整・紛争解決がどのように行われているか多面的多角的に考察している。 c:国際政治における課題解決について主体的に考察している。	定期考査 小テスト	定期考査 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り	課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り
			2節　複雑化する国際政治と日本 ① 戦後国際関係の展開と日本 ② 冷戦後の国際関係と日本 ③ 地域主義の動き ④ 軍縮の動向と課題 ⑤ 紛争・難民・テロリズム ⑥ 国際社会における日本の役割	a:国際情勢の変遷を理解した上で、日本の国際社会への関わりをその背景から理解している。 b:戦後の国際関係の展開と日本、また日本の役割について多面的多角的に考察している。 c:国際対立や紛争解決にはどうすればよいか主体的に考えている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り	課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り
３学期		第２章　現代の国際経済	1節　国民経済と国際経済 ① 貿易と国際収支 ② 戦後国際経済体制の展開 ③ 発展途上国の経済	a:自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支、戦後国際経済体制、南北問題などを理解している。 b:貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、課題解決へ多面的多角的に考え表現している。 c:現代の国際経済の課題について主体的に解決策を考えている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り	課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り
			2節　世界経済の現状と課題 ① グローバル化する世界経済 ② 地球環境問題 ③ 資源・エネルギー問題 ④ 人口・貧困・感染症	a:環境問題などグローバル化する世界的な課題の論点を理解している。 b:地球規模の課題を自己と関連付けて考察している。 c:地球規模の課題に対し主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り	課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り
		第３章　国際社会の諸課題	① グローバル化にともなう社会変容 ② 地球環境と資源・エネルギー問題 ③ 国際的な経済格差の是正 ④ イノベーションの促進と成長市場 ⑤ 民族問題と紛争の解決 ⑥ 持続可能な社会の実現	a:国際社会における課題を資料から読み解きまとめられる。 b:国際社会における課題に対し多面的多角的に考察し意見を表現している。 c: 国際社会における課題について主体的に解決しようとし、合意形成や社会参加に向かおうとしている。	定期考査 小テスト	レポート 発表 定期考査 小テスト	レポート 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ ノート作り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度